



日本共産党市会議員

2016年05月21日

庄本けんじ

携帯 090-6665-9401

議員控え室 0798-35-3368

活動ニュース

新名神橋桁落下事故

西宮市山口町名来地域に多大な被害

日本共産党西宮市会議員団が西宮市に申し入れ



申し入れる6人の西宮市会議員

国会、県会、市議会議員団が現地調査

4月22日、新名神高速道路の有馬川橋工事現場で、長さ124m、重量約1350tの鋼鉄製橋桁が落下するという重大事故が発生。この事故で2名が死亡、8名がけがをおいしました。

事故が起きた場所は神戸市ですが、落下した橋桁がそのままのため、国道176号が通行不能となり、その多大な影響を受けているのは、西宮市山口町名来地域周辺の住民と商店です。

日本共産党は、事故翌日の4月23日、堀内照文衆議院議員、兵庫県議団、神戸市議団が現場を視察し、5月1日には、日本共産党兵庫県委員会の金田峰生元県会議員と西宮市会議員団から庄

本けんじ市会議員（5月1日を前後して数回現地を訪れの聞き取りをしました）が、西宮市山口町名来地域の商店を訪問、現状の聞き取り調査をしました。そこでは、痛切な声が寄せられました。

売り上げ激減！いつ倒れるかわからない

一つは、国道176号が通行止めとなり、国道沿道のチェーン店や飲食店の客足が激減し、開通のめどがたたないなかで、「このままでは、いつ店が倒れるかわからない」との悲痛な声が寄せられるなど、国道沿道の商店の営業が大きな打撃を受けていることです。もう一つは、交通規制の影響を受け、周辺の居住地域内に多くの車両が入り込み、交通安全上の問題が起きていることです。また、国道が不通になっているため、これまでは10分で行き着いてところが迂回せざるを得なくなり1時間もの時間がかかるという、生活上、大きな負担を強いられることになっています。ほかにも、さまざまな解決すべき問題があるはずです。

住民の実情をつかみ、必要な対策を

行政には、すでに明らかとなった、こうした問題を解決するとともに、事故周辺の住民や商店の実情をしっかりと把握し、必要な対策をとることが求められています。

5月17日、日本共産党西宮市会議員団は、西宮市に対し、住民や商店の実情を把握し、必要な対策をつること、居住地域内の交通安全に万全を期すこと、NEXCOと国に必要な申し入れと要求をすることを求め、申し入れをしました。（申し入れ全文は裏面）

2016年5月17日

西宮市長 今村岳司 様

日本共産党西宮市会議員団
団長 杉山たかのり

新名神高速道路橋桁落下事故についての緊急申し入れ

4月22日16時27分ごろ、新名神高速道路の有馬川橋の工事現場（神戸市北区道場平田）で、長さ約124m、重量約1350トンの鋼鉄製橋桁が約15m下の国道176号に落下するという事故が起きた。この事故で、作業員2名が死亡し、8名がけがをした。

橋桁落下事故によって、国道176号が通行不能となり、事故現場を挟む、西宮市の天上橋交差点から神戸市北区の日下部交差点までの約1.5kmが通行止め、または、交通規制がかけられることとなった。

5月13日、国道176号通行止め解除に向けた工事が開始されたが、西日本高速道路株式会社（NEXCO西日本）によると、その工事期間は2か月程度とされているものの、通行止め解除の時期については、見通しが立たないとされている。

日本共産党国会、県会、市会議員団が現地調査を行ったが、山口町名来周辺、国道176号沿線の飲食店や商店では、通行規制がかかっているため客足が途絶え、大きな打撃を受けていることが明らかとなった。また、迂回する車両の侵入により周辺住民の日常生活にも、重大な影響が生じている。ある商店からは、「このままだと、持ちこたえられない」との悲鳴があがっている。国道176号の開通の見通しが立たないもとの、住民は不安と苛立ちをつのらせ、事態は深刻な状態にある。

よって、西宮市として、周辺住民や商店の声をきいて実態をつかみ、必要な対策を下記のことを実施されるよう緊急に申し入れる。

記

- 1、早急に周辺住民や商店の実情と要求を把握し、生活保障などの必要な対策をとること。
 - ①山口支所に生活や法律の相談窓口を設置すること。
 - ②倒産・廃業や解雇等が起こらないよう、緊急のつなぎ融資制度などの支援策をとること。
 - ③個人市民税や国民健康保険料などの減免、徴収猶予等ができるよう制度の周知、徹底をはかること。
- 2、迂回道路がわからず、居住地域に迷った車が入ってくるなどで、交通安全上の問題が起きている。

迂回路の案内を強化するなど、周辺地域の交通安全に万全を期すよう、西日本高速道路株式会社に要請すること。
- 3、西日本高速道路株式会社と国に対して、次の内容の申し入れを行うこと。
 - ①事故原因を早期に究明するとともに、再発防止を徹底すること。
 - ②二次的 사고を起こさないための安全管理を徹底すること。
 - ③国道176号を早期に通行開始すること。
- 4、被害を受けた事業者への損失補償と損害賠償が確実に実施されるよう、国に求めること。

以上